

ML250 エアーコンプレッサー

- アクセサリソケットから電源が取れ、簡単にタイヤの空気補充ができます。
- 普通車タイヤの目安(205/55-16)補充時間約5分。
- 緊急時に使用するテンパータイヤにも対応(420kPa)

12V



取扱説明書

この度は、「ML250 エアーコンプレッサー」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分活かしていただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」を良くお読みのうえ、正しくお使いください。

尚、この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

安全に関するご注意

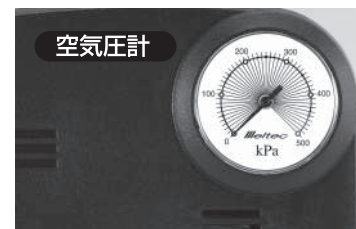
本器を正しく安全にご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解されるまで作業を行わないでください。

※誤った使用や分解・改造による事故・故障等の責任は一切負いかねますのでご了承ください。

使用目的

ML250 エアーコンプレッサーは、お車のバッテリー電源12Vを利用して普通自動車のタイヤやスベアタイヤのエアー注入等に使用できます。

各部の名称



※エアータンクの注入には、使用出来ません。

ML250の特長は…

- アクセサリソケットから電源が取れ、簡単にタイヤの空気補充ができます。
- 普通車タイヤの目安(205/55-16)補充時間約5分。
- 緊急時に使用するテンパータイヤにも対応(420kPa)

主な仕様

入力電源	DC12V
動力電流	MAX 10A
連続使用	10分まで
メーター表示	0~500kPa
ヒューズ容量	10A ミニガラス管(電源プラグ内)
電源プラグコードの長さ	約4.5m
商品サイズ/重量	約140(W)×70(H)×125(D)mm/約800g
エアホースの長さ	75cm

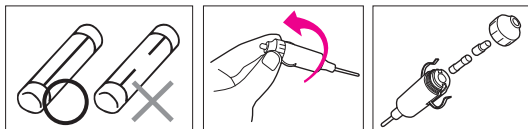
ご使用の際の注意事項

ご使用中は、絶対に本器から離れないでください。

- ①電源はDC12V専用です。
- ②このコンプレッサーは、タイヤの空気充填に使うためのものです。
尚、使用中コンプレッサーの回転が鈍ったり又は、本体を触って熱い場合は、長時間使用等が原因で既にオーバーヒートしています。連続使用は10分まで、それ以上ご使用の場合は30分以上、休止し冷却させてからご使用ください。
- ③本器に空気圧計を備えています。あくまでも目安です。
タイヤゲージ等で必ず計測してください。
- ④エアホーン用エアータンクには使用しないでください。

ヒューズの交換

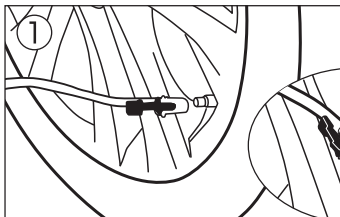
万が一、ヒューズが切れた際は、本器の状態などをよく点検し、異常のないことをご確認の上、10A(ミニガラス管)のヒューズと交換してください。



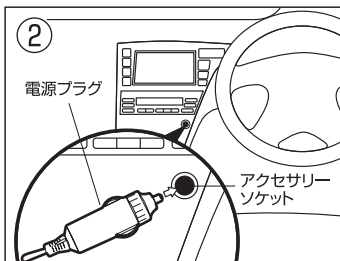
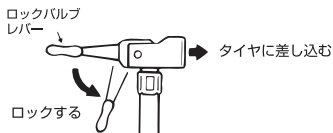
安全に関する注意事項

- △必要以上に空気を入れないでください。
場合によっては破裂・パンクの原因となり事故やケガに、つながるおそれがあります。
- △エンジンをかけた状態で使用するため、閉鎖された車庫内・深夜での使用はやめてください。
排気ガスによる中毒、周囲への迷惑となります。
- △使用中・使用後は高温になり、ヤケドやケガの原因となりますので注意してください。
- △使用後、電源プラグが熱くなっている場合があります。
引き抜く時はヤケドに注意してください。(特にプラグ先端部)
- △アクセサリソケットから電源プラグを抜く場合は、電源プラグを持って抜いてください。
コードの接触不良になります。
- △連続での運転は10分以内とし、続けて使用する場合は30分以上休止し、冷却後、使用してください。
- △本器の加熱・オーバーヒートの原因となります。
- △本器はDC12V専用です。24V車(バスやトラック等)では使用できません。
- △市販の2連~4連ソケットからのご使用は故障の原因となる恐れがありますので、おやめください。
- △本器は単独で使用してください。ヒューズ切れや加熱による破損の原因となります。
- △本器の使用中は離れないでください。
- △タイヤの空気圧の補充や充填以外での使用はしないでください。
- △業務用・医療に準ずる事には使用できません。
本器使用中、回転が鈍ったり異音が出た場合は使用を中止してください。
- △正確な空気圧は必ずタイヤゲージ等で測定してください。
空気圧計はあくまでも目安です。
- △砂地、ホコリ等の多い場所では使用しないでください。
本器内部に入り、故障の原因となります。
- △落下やぶつけたりしないでください。
本器の破損、ケガの原因となります。

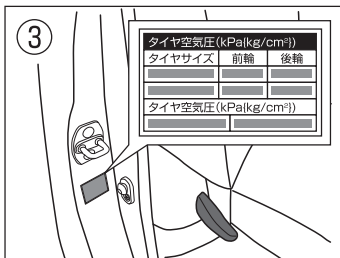
ご使用方法



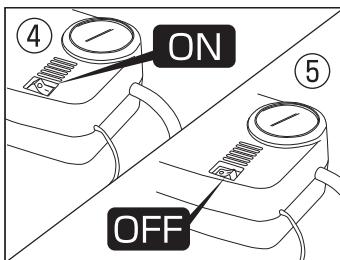
①ホース先端バルブをタイヤの空気バルブに奥まで差し込んで、ロックバルブレバーを倒して装着してください。



②本器電源スイッチがOFFであることを確認し、電源プラグをお車のアクセサリソケットに差し込み、車のエンジンをかけてください。



③タイヤ指定空気圧を確認してください。
※運転席側のドア部ラベル表示で確認することができます。



④エアーコンプレッサーの電源スイッチをONにします。

⚠ 連続使用は10分までです。
続けて使用する場合は、30分以上休止し冷却させた後ご使用ください。

⑤電源スイッチをOFFに、必要に応じてタイヤゲージ等で測定してください。

⑥圧力不足の場合は、再充填してください。

⑦作業が完了したら、電源スイッチをOFFに、電源プラグを抜いてください。

おかしいなと思ったら

本器がおかしい時は、以下の点をお調べください。

症 状	調べるポイント	対処方法
エアーコンプレッサーが作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの接続。 ●アクセサリソケットの汚れ。 ●アクセサリソケットのヒューズ切れ。 ●電源スイッチ 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをしっかりと車のアクセサリソケットに差し込む。 ●汚れている場合には、よく掃除する。 ●ヒューズが切れているか調べて、切れていれば交換する。 ●電源スイッチを入れ直す。
エアーコンプレッサーの電源は入るが空気が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤとの接続。 ●タイヤの空気もれ。 ●ホースの損傷。 	<ul style="list-style-type: none"> ●タイヤバルブの空気注入口に差し込んでください。 ●空気のもれている部分を探して修理する。 ●ホースに亀裂等の破損があれば修理依頼してください。
エアーコンプレッサーの運転がゆっくりで圧力も低い。	<ul style="list-style-type: none"> ●オーバーヒート。 ●バッテリーの電圧。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源を切って1時間位休ませる。 ●車のエンジンの回転を上げてみる。

新計量法に伴う圧力計量単位変更について

1993年11月に施行された新計量法により、計量単位が国際単位系(SI単位)に統一されることとなり、圧力計量単位も国際単位系に統一されることになりました。これに伴い、今までで圧力計量単位として広く使用されていた、kgf/cm²、PSIの圧力計量単位は、1999年9月30日以降は使用できなくなりました。1999年10月1日より、圧力計量単位は、国際単位系のPa(パスカル)となっております。

換算表

1.0kgf/cm² = 約98kPa (キロパスカル)

1.8kgf/cm ²	約176kPa
2.0kgf/cm ²	約196kPa
2.2kgf/cm ²	約216kPa
2.4kgf/cm ²	約235kPa
2.6kgf/cm ²	約255kPa
2.8kgf/cm ²	約274kPa

輸入元 **///eltec 大自工業株式会社** 営業本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126
TEL.072-976-0101 (代) / FAX.072-976-0105
●http://www.daiji.co.jp/ ●Eメール:info@daiji.co.jp

掲載されている商品の仕様及びカラーは、改良の為予告なく変更する場合があります。

MADE IN CHINA